

教科	理科
----	----

目 標	<p>自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって、観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>
	<p>(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより適切な考えをつくりだす力を養う。</p> <p>(3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。</p>

将来の生活に向けて授業で付けたい力

<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関係の深い物質の性質や使い方 日常生活に関係の深い器具や機械の仕組み、使い方 人の体に関する知識と健康な生活に役立てる力 自然現象についての知識と健康で安全な生活に役立てる力

関連する行事等

<p>1年: 社会見学</p> <p>2年: 外部講師による授業(まちづくり出前講座～危険物等の安全管理～、エネルギー・環境教育)</p>

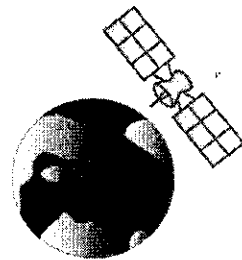
使用教科書

<p>くらしに役立つ理科(東洋館出版社)</p>

学習内容

<理科 1学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4 ・ 5 月	植物 ・花のつくりと働き	(知)身近な植物の観察を行い、その特徴を捉えて正確に記録する。 (知)顕微鏡の仕組みを理解し、手順通り操作する。 (知)花粉の観察を行い、観察結果を適切に記録する。 (思)数種類の花の観察結果を比較して花のつくりの基本的な特徴をまとめる。 (思)植物の観察結果から花のつくりの基本的な特徴を見付ける。 (思)季節の植物について、身近な植物の名称、形状の特徴等を発表する。 (主)生物への興味や関心を高め、身近な植物の観察を進んで行う。 (主)花への興味や関心を高め、身近な花を育てたり愛でたりする。
	6 ・ 7 月	季節の植物と旬の食べ物①(春・夏)	(知)春や夏の植物、旬の食べ物(野菜、果物、魚)を知る。 (知)植物や食べ物によって、成長する季節に違いがあることを知る。 (知)植物や食べ物によって、成長する季節に違いがあることから、自然と環境が関わりあっていることを理解する。 (主)日常、口にする食材の旬に興味関心をもつ。
	9 月	地球と天体 ・地球、太陽、月の特徴 気温と湿度 ・気温・湿度測定	(知)地球と太陽、月の特徴を理解する。 (知)自転や公転などの地球の動き方について理解する。 (思)自転や公転などの地球の動き方の特徴を調べてまとめる。 (主)日食や月食等に興味関心をもって生活する。



月	単元名 (時数)	評価の観点
10月	自然災害	<p>(知)地震、津波、台風、豪雨、地滑り、火山活動などの自然災害について知る。</p> <p>(知)ハザードマップで自分が住んでいる場所に予測される自然災害について調べる。</p> <p>(知)地震、津波、台風、豪雨、地滑り、火山活動などの性質や原因、主な被害について理解する。</p> <p>(思)自然災害による被害を小さくする方策を考察し、自らの考えを発表する。</p> <p>(主)学んだことを生かして、自然災害から身を守ろうとする。</p>
後期	健康的な食事 ・糖分・塩分測定	<p>(知)糖分計や塩分計の扱い方や測定方法を知り、身近な食品に含まれる糖分や塩分の測定結果を正確に記録する。</p> <p>(思)得られた結果を比較したり、関係付けたりして考察し、塩分や糖分が多く含まれる食品について調べ、自らの考えを発表する。</p> <p>(主)自分の食生活を振り返り、糖分や塩分を適度に摂取する生活を心がけようとする。</p>
	季節の植物と旬の食べ物②(秋・冬)	<p>(知)秋や冬の植物、旬の食べ物(野菜、果物、魚)を知る。</p> <p>(思)秋や冬の植物、旬の食べ物など身近な植物や食べ物の名称を調べて発表する。</p> <p>(主)植物や食べ物の種類によって、成長する季節に違いがあることを知り、自然が環境と深く関わっていることに興味をもつ。</p>
	1・2月 気象 ・気団と前線	<p>(知)天気図から気象情報を読み取る。</p> <p>(思)気象情報の記録から、前線の通過と天気の変化にはどのような関係があるか整理し、まとめる。</p> <p>(主)ニュースなどで知り得たことを気象情報と結びつける。</p>
3月	日本の天気の特徴	<p>(知)日本周辺に現れる四つの気団の特徴や季節ごとの天気の特徴について知る。</p> <p>(思)日本周辺に現れる四つの気団の特徴や季節ごとの天気の特徴をまとめ、発表する。</p> <p>(思)日常生活で発生することが予想される天候の変化への対応策を考える。</p> <p>(主)学んだことを生かし、四季に応じて服装や携行品に気を配ろうとする。</p>
通年	ウォーミングアップ 気温・湿度測定、記録	<p>(知)教室の温度、湿度の測定を行い、正確に記録する。</p>

学習内容

<理科 2学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7月	<p>ひと からだ おも はたら 人の体の主なつくりや働き</p> <p>びょうき ・病気になったら</p> <p>しんぞう はたら ・心臓の働き</p> <p>みやくはく はか ・脈拍を測ろう</p> <p>こきゅう しく ・呼吸の仕組み</p> <p>かくきかん はたら ・各器官のつくりや働き</p>	<p>(知) 主なけがや病気の症状を知る。</p> <p>(1) (思) 主なけがや病気の予防法を考える。</p> <p>(2) (知) 心臓のつくりや、その働きを理解する。 (思) 病気の症状から適切な診療科を判断する。</p> <p>(2) (知) 体の表面で血管を探し、脈拍を測定する。</p> <p>(3) (思) 脈拍数が運動量によってどのように変化するかを調べてまとめる。</p> <p>(知) 呼吸や血液の循環に関わる体内の各器官のつくりや働きについて理解する。</p> <p>(思) 気体検知器を用いた実験の結果から、吸う空気と吐く空気の成分の違いを整理し、まとめる。</p> <p>(思) 動物の体の大きさと脈拍数の関わり方について推測し、自分の意見を発表する。</p> <p>(3) (知) 人の体の各器官の名称と大まかな働きを理解する。 (主) 自分の体に関心を持ち、健康に留意して日常生活を送ろうとする。</p>
	9月	<p>びせいぶつ 微生物①</p> <p>よぼう ・かびの予防</p> <p>びせいぶつ はたら ・微生物の働き</p>	<p>(知) かびの発生要因について知る。</p> <p>(1) (思) 家のかび汚れや食中毒の予防策を考えて発表する。</p> <p>(知) 微生物の働きや日常生活と微生物との関わりについて理解する。</p> <p>(2) する。</p>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
後期	10 ・ 11 ・ 12 月	物質 ・身の回りにある物質	(知) 代表的な金属・非金属(プラスチック・ガラス)の性質の違いを知る。 (知) 豆電球や磁石を用いて代表的な金属の性質を調べ、実験結果を正確に記録する。 (思) ペットボトルのキャップやラベルを用いた実験の結果から、プラスチックに共通する特徴や性質の違いを整理してまとめる。 (思) ガラスの使用上の注意点を考えて発表する。 (主) 日常生活で、身の回りの器具や道具等をその性質に留意しながら扱ったり、廃棄したりしようとする。
		微生物② ・ウイルス・細菌	(知) ウイルスや細菌の特徴を理解する。 (思) インフルエンザや風邪の予防策を考えて発表する。
	1 ・ 2 ・ 3 月	エネルギー・機械 ・日常生活に関係の深い エネルギー	(知) ガス・電気・石油の性質の違いを理解する。 (思) 暮らしの中でガス・電気・石油エネルギーが使われている所や使用時の注意点を考え、発表する。 (思) 地球温暖化や、環境を守る取り組みについて、自分にできることを考えて発表する。 (知) 灯油やガソリンなどの危険物の性質の違いや、正しい取り扱い方法を理解する。 (知) ポンプの構造や働きについて理解し安全かつ効率的に扱う。 (主) 日常生活で、地球環境を守るために自分ができることに取り組もうとする。
通年		ウォーミングアップ 気温・湿度測定、記録	(知) 教室の温度、湿度の測定を行い、正確に記録する。